

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

生活支援技術【清潔の支援】

1) ①～③の () に合う記号を選んで下さい。

整容行動には、(①)、(②)、(③)、ひげの手入れ、整髪、爪の手入れ、化粧などがあります。

イ) 洗面 ロ) 更衣 ハ) 排泄 ニ) 洗顔 ホ) 口腔ケア

2) 爪の周囲の皮膚に化膿や炎症がある場合、介護職が爪切りをできるでしょうか？

できる できない

3) 安全カミソリを使用したヒゲそりの介助は、医療行為でしょうか？

医療行為である 医療行為ではない

4) 更衣介助を行う際の注意点を3つあげて下さい。

① ()

② ()

③ ()

5) 入浴時におけるお湯お温度は、どれが望ましいでしょうか？

34～37℃ 38～41℃ 42～45℃

確認テスト 解答・解説

1) 解答 ①イ ②ニ ③ホ

<解説> 整容行為は「その人らしさ」への支援が基本であり、安全に爽快感や清潔感を得て、自尊心を満足させることが大切。また、自分で行うことも生活意欲の向上につながるため、自分で行えるような支援が必要になる。

2) 解答 できない

<解説> 2005年7月に厚生労働省からの「医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について」という通知より、専門的管理を必要としない「爪切り」は医療行為ではないとされた。

しかし、白癬など爪そのものに異常があるような場合や、爪の周囲の皮膚にも化膿や炎症がある場合の爪切りは、介護職は行うことができない。

3) 解答 医療行為である

<解説> 2005年7月に厚生労働省からの「医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について」という通知より、安全カミソリなどカミソリ及びハサミなどの刃物を使用する「ひげ剃り」は医療行為となった。したがって、介護職が対象者のひげを剃る際は電気カミソリを使うこと。

4) 解答 ① 室温を調節する

② プライバシーに配慮する

③ 患側お腕や足を無理やり伸縮しない

<解説> ① 着脱する際に、裸若しくは薄着になるため、更衣する環境の室温を熱くならず寒くならずの調整を行う必要がある。

② 着脱の際に肌が露出するため、同性介助が望ましい。また、肌の露出を最小限にするため、バスタオルなどを活用して対象者のプライバシーに配慮する。

③ 無理に行うと、痛みの出現や骨折・脱臼を起こす可能性があるので注意する。麻痺や拘縮がある場合は、脱ぐ時は健側から、着る時は患側から行う。

5) 解答 38～41℃

<解説> 38～41℃では副交感神経の働きが促進され、リラックス効果が期待できる。42℃以上のお湯で入浴すると、血管が収縮して急に血圧が上昇するので注意する。なお、安全な入浴のためには、空腹時や満腹時は避ける、脱衣所と浴室内の温度差を極力小さくする、体調不良時には医療者とよく相談するなどの配慮が必要。